

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13089	3	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	臨床栄養学Ⅲ(チーム医療における栄養管理) (Clinical Nutrition Science Ⅲ)				
担当教員名	小城 明子				
授業の概要及び到達目標					
<p>【ねらい】医療栄養学概論および臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養学実習Ⅰなどで学んだ知識を基に、各疾病と栄養面との関係を整理し、疾病に対する臨床栄養学的なアプローチを実践するための応用力を身につける。</p> <p>【概要】栄養管理を必要とする主要疾病の発症機序および病態生理、食事療法の意義とその内容を整理する。</p> <p>【到達目標】①各疾病の病態や栄養状態の特徴を概説できる。②各疾病の発症機序と食事療法との関係を説明できる。③チーム医療における管理栄養士の立場から、疾病に対する臨床栄養学的なアプローチを提案できる。</p>					
準備学習等					
<p>「医療栄養学概論」および「臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ」、「臨床栄養学実習Ⅰ」を十分に復習し臨むこと。</p> <p>第1回 テキスト①の p. 227～231 : 10.1 項の予習・復習  第2回 テキスト①の p. 279～285 : 16.3 項の予習・復習  第3回 免疫機構の復習  テキスト①の p. 258～262 : 14.1 項の予習・復習  第4回 テキスト①の p. 154～159 : 7.2 項の予習・復習  第5回 テキスト①の p. 231～234 : 10.2 項の予習・復習  第6回 テキスト①の p. 268～269、p. 276 : 15 の該当箇所の予習・復習  第7回 テキスト①の p. 221～226、p. 292～293 : 9.4～9.6 項、17.1.2 項の予習・復習  第8回 テキスト①の p. 162～166、p. 217～220 : 7.4 項の該当箇所、9.1 項、9.2 項の予習・復習  第9回 第8回の復習  第10回 テキスト①の p. 291～294 : 17.1 項の予習・復習  第11～15回 事前に提示するテーマ(疾病・病態)について、テキストや関連科目のノートなどを活用した予習・復習</p>					
成績評価の方法	課題 (20%)、期末試験 (80%)				
テキスト	①栄養科学シリーズ NEXT シリーズ『新・臨床栄養学』竹谷豊・塚原丘美・桑波田雅士・阪上浩編：講談社サイエンティフィック (ISBN 978-4-06-155384-2)				

	②『看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック 第5版』、奈良信雄著：医歯薬出版社（ISBN 978-4-263-70625-1）
参考図書	
備考	<p>○「医療栄養学概論」および「臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ」、「臨床栄養学実習Ⅰ」を十分に復習し臨むこと。</p> <p>○卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図の通り。</p> <p>○オフィスアワーは desknet' s の一覧を確認すること。</p>
授 業 計 画	
<p>○第1、2、4～8回は、各テーマに関し、疾病の成り立ち、病態とその評価、栄養状態との関係、栄養食事療法、多職種によるアプローチについて、講義する。</p> <p>○第3、9、10回は、外部講師による講義とする。</p> <p>○第11～15回は、これまでに学んだ知識を応用し、さまざまな疾病、症例に対する栄養食事療法を考える課題を中心とする。詳細は、第1回で説明する。</p> <p>第1回 心因性摂食障害  第2回 先天性代謝異常症  第3回 食物アレルギー [外部講師]  第4回 摂食嚥下リハビリテーション  第5回 認知症  第6回 がん治療中の栄養管理と緩和ケア  第7回 褥瘡管理、クリティカルケア  第8回 周術期（胃・腸切除後）の栄養管理  第9回 周術期の栄養管理のさまざま [外部講師]  第10回 在宅・地域における栄養管理 [外部講師]  第11回 症例に応じた臨床栄養学的なアプローチ①  第12回 症例に応じた臨床栄養学的なアプローチ②  第13回 症例に応じた臨床栄養学的なアプローチ③  第14回 症例に応じた臨床栄養学的なアプローチ④  第15回 症例に応じた臨床栄養学的なアプローチ⑤  災害時における栄養管理</p> <p>※授業の進行は変更する場合がある。</p>	